



### ◇その後

それらの乗物は、子どもたちで存分に遊ばれ、海は積木で囲ったりして、磯釣りがはじめられた。いつのまにか、釣りやさんごっこが子どもたちの間に盛んになっていった。

### ◇感想と反省

「のりものはくらんかい」を通し、みんなが協力してつくる機会が多くなり、話し合いの場が多く持たれたりして、自己主張の多いこの時期に、協調してあそぶことのおもしろさを、子どもたちなりに理解できるところになったし、今までの割合少人数的グループでのあそびから、クラスの中の一員という自覚へ、さらに発展して、幼稚園という大きな集団の中の一人ということが理解されてきた。又自分の身近なものを見つめて、理解しようとする芽生えが育ってきたことは

収穫だったと思う。

何しろ予想以上にいろいろと発展して大きくなってしまったので、十六坪の保育室と三坪の廊下では、子どもが充分活動するには少し狭すぎた感じで、もう少し発展するのを予想して場所を選定しておいたら、実際に組板でつくった大きな乗物を走らせるとか、交通のきよりとかをもっと大きくとり入れたものができたのではなかったかしらなどと反省している。

(洗足学園幼稚園)

幼児の教育 第六十五巻 第三号

三月号 © 定価六〇円

昭和四十一年二月二十五日 印刷

昭和四十一年三月 一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします